

2月定例会本会議(3月21日) みつなか美由紀議員

日本共産党が予算組み替え動議を提出

財源確保し、暮らし応援の施策実施を 低所得者への水道料金の値上げ中止を提案

日本共産党名古屋市議団は3月21日に予算組み替え動議を提出。みつなか美由紀議員が提案説明を行いました。その内容を紹介します。

日本共産党市議団を代表し、2025年度名古屋市一般会計予算の組み換えを求める動議についてご説明申し上げます。

物価高騰が市民生活と中小企業の経営を直撃する下、広沢市長が提案した2025年度一般会計予算案は、さらに市民に負担を強いる一方で、不要不急の大型事業を進めるものです。以下の方向で抜本的な組み替えを提案します。

第一に、金持ち優遇の市民税減税を中止するとともに、名古屋城天守閣木造復元や、中部国際空港二本目滑走路関連、名駅南地下公共空間整備、木曾川水系連絡導水路関連など、不要不急の大型開発事業を中止し、約114億円の財源を作ります。

第二に、確保した財源を、市民の命と暮らしを守るために活用します。小学校給食費の無償化、フリースクール利用者への利用料助成制度の創設、高等学校給付型奨学金の対象を拡大し、子どもたちの成長と学びを保障します。看護 就学資金 貸与制度の再開、奨学金返還支援制度の創設で、若者を支援します。上下水道料金の低所得者への値上げを中止し、生活保



組み替えの主な内容 これだけのことができます

①市民の福祉や暮らし、子育て支援の予算を増やす	
・小学校給食費の無償化	43.9億円
・国民健康保険料の引き下げ	37.5億円
・上下水道料金の低所得者への値上げ中止	17億円
・加齢性難聴者への補聴器購入助成	5千万円
・生活保護費の夏季見舞金制度復活	3.5億円
・看護就学資金貸与の再開	5千万円
・奨学金返還支援制度の創設	3.6億円
・高等学校給付型奨学金の対象を非課税全世帯に拡充	2億円
・フリースクール利用者の利用料助成	6千万円
・住宅リフォーム制度創設	1億円
・災害対策事業基金への繰り出し	1.8千万円
②金持ち減税をやめ、むだを削って財源を生み出す	
・市民税5%減税	102億円
・名古屋城天守閣木造復元関連事業	4.1億円
・中部空港2本目滑走路整備調査	1.2億円
・高級ホテル立地促進事業	2億円
・名古屋高速への出資金・貸付金	3.5億円
・水源施設建設出資金(木曾川導水路事業分)	2000万円
・名駅南地下公共空間整備	3500万円
・議員の海外視察費	2300万円

護費の夏季見舞金を復活します。国民健康保険料を引き下げます。加齢性難聴者への補聴器購入補助制度を創設します。住宅リフォーム助成制度を創設し、中小業者の仕事を増やします。

以上、市長に対し、一般会計予算案を速やかに組み換え、再提出されることを求めて、説明を終わります。

予算組み替え動議は、日本共産党以外の全会派が反対し、否決されました。